

本気、夢道

～夢に向かって限界突破～

令和8年4月28日 第5号

「伝統と文化」を継承するために大切なことは？

4月22日（水）の道德の授業で「使い手を驚かせて魅了する」という題材から「伝統と文化を継承するために大切なことは？」について考えました。

【あらすじ】

江戸切子職人の堀田徹さんが、江戸切子の本質を守りつつ革新を積み重ねる姿から、伝統と文化の継承、そして発展について考える。

堀田さんの活動、昔と形が変わっているけれど「伝統文化」とカテゴライズされている伝統工芸品や伝統芸能、それらを見ながら「形が変わっても『伝統文化』といえるのか？」と聞いてみました。なんと、「モノによって違う」という人がほとんど！

では、「伝統文化を変化させるときでも大切にしなければならない考え方・ことは？」と聞いてみました。

- 先人たちへのリスペクト。伝統文化の中で、「新しい伝統を創っている」と捉えたらいいのでは。
- 時代の流行に乗りすぎて、元の原型が無くなったらダメだから、変えつつ原型を残すという考えをもつ。
- 流行りのものを取り入れるのはいいけれど、本来の良さが分からなくなってしまう。
- 昔の人から受け継いできた模様とかも伝統だから、勝手に変えたら良くない。
- 新しいものを創ろう、変化しようとしている今も「伝統の内」という考えが大切。今まで受け継いできたものを変えるのは難しいけれど、ある程度のルールの中で変えるのは難しいけれど、ある程度のルールの中で変えるのは良いと思う。
- その伝統文化の条件的なのを知り、それを守る。
- 何もかも現代風にするのではなくそれぞれの特徴などを残すということをしなければいけない。
- ある程度の伝統の枠組みを打ち壊すものは新たな風を吹かせるものでいいとは思いますが、そもそもの意味を壊してまで、万人に受けるものを作るのは少し違う。
- 昔から受け継がれたやり方でやるのが伝統だと思う。

ニュースやSNSなどで「日本の伝統文化は素敵だ。」や「日本の伝統文化を体験したい。」という発信を見た・聞いたことがある人も多いと思います。（私はそれを見ると無条件に嬉しくなります。）日本の伝統文化は素敵なもので、世界に誇れるものだと感じている人も多いですね。同時に、伝統文化を今後も受け継いでいくことは相当な努力が必要だということも、知っているといます。そのため、「伝統を受け継いでいくのは今を生きる私たちだ。」ということも、様々な場面で聞いてきましたよね。でも、なかなか自分事としては考えられなかったのでは？ということで、今回皆さんにじっくり考えてもらいました。この授業を通して、どんなことを考えましたか？以下は皆さんの感想や意見です。

一人一人の考え方によって伝統文化であるとか、伝統文化ではないとかよく考えることができた。

伝統文化が変わっていくのは良いことだと思うし、これからも廃れず変わって行って欲しいなと思った。私たちは、伝統文化の変化を見守り、評価することが大切なのかと思った。

伝統文化は色々形を変えながら受け継がれているけれど、これからも受け継いでいくには、時代に合わせて変えていくのも大切だと思った。

伝統文化は新しいものを取り入れて途絶えないようにするのは良いけれど、技法や本来の形や意味を曲げてはいけなかなと思いました。

新しいことを取り入れることも伝統を続かせるために大切なことだし、限度を超えすぎないで、ちょっとずつ流行りものも取り入れて、一気に変えすぎないことが大切。

伝統文化を受け継ぐには、私たちは上の世代から教えてもらう。派手にしすぎたり、何かわからなくなるようにしたりするのはダメ。「伝統を創る」という気持ちを忘れない。

昔から受け継がれたやり方でやるのも伝統だけど、時代に合わせてこけしとかを作るのも自分はいいと思った。でも、ちゃんと原型を残して作ることが大切。

なぜ自分は今やっているのかをしっかり考え直して、「悔しい思いをしたから」や「後悔したくないから」など、自分が今まで努力してきた理由を再確認していけばやろうと思える。再確認することが大切。

伝統を受け継ぐことは大切だけど、作り方や原型を変えずにでも流行りものも取り入れながら受け継いでいけばいいと思う。私は知っている伝統があまりなかったので、もっと色々なものに興味をもって知ることが大切だと思った。

伝統を引き継ぎつつ、変にアニメなどをつなげるのではなく、原型を維持しながら引き継いでいく。

職人の考えが色々あるんだから批判するのではなく、そういう考えもあるんだな、と捉えることが大切。

人によって伝統を変化したものが伝統だと思費ともいけば、思わない人もいるとわかった。伝統を変化させるなら、基準を残して変えるとよいと知った。

伝統は変えすぎず、ちょっとでも伝統が分かるようにし、本来の良さも使ったら良いということがわかった。

伝統文化を継承するために大切なことは、見た目を変えたり、本来の良さを消さなかったりすることが大切。

伝統は一部の人だけじゃなくて、私たち皆がその文化を大切に引き継がないといけない。

伝統文化を創る時に大切なことは、元の形を変えすぎずに時代の変化を大切にする。

今日の授業で、いくら同じ部類でも、「これは伝統」「これは伝統じゃない」と考えることで、伝統において大切なものは何か考えることができた。

まったく変化させず受け継いでいくことは難しいし、それがいいとも限らないから、その時代に合わせて少しずつ変化していくのはいいと思う。けど、原型がなかったり、これはちょっと…っていうものだったりだと、「伝統」だとは言えないと思った。伝統に興味をもって、色々なことを知る。

そのまま時代に乗りながら受け継いでいき、伝統工芸品の良さを無くさずに形を変えることは良いことだと思った。

時代の流行に乗りすぎないことも大切だけど、時代に合わせなかったら人気が無くなる。伝統から離れすぎないことが大切だと思った。

過去の産物をつぶさない為にも、先人たちの知恵をリスペクトする。

伝統文化は、原型をちゃんと残すことが大切だと思いました。伝統と文化を受け継ぐのを人任せにしないで、自分事として考えていきたい。

裏に続きます！

形を変えすぎず昔からの形も大切にしていけばいい。

伝統が少しずつ変わりながら受け継がれている。

伝統か伝統文化じゃないかを思うのは人それぞれだけど、特徴を残しつつ新しいものにしていくことが大切だと思った。

伝統文化を続けるためには、その良さを取り入れる。

これは伝統か、などは人それぞれで決めたりはできないけれど、それを残していくためには、人手を増やす、書き物をしておく、などは出来るから、繋いでいこうと思った。

伝統文化を変化させたものは、私たちから見ると「これは伝統文化だ。」「これは伝統文化ではない。」と思ったりして、賛否両論が出てくる。だけど、職人達が伝統を後世に受け継ぐための工夫なんだ、と思った。

今まであったものを変える時には、過去を大切にしつつも、囚われすぎないことが大切ということがわかった。だから今を大切に、できる限りの中で変化していくことが大切だと思った。

伝統工芸品の形を現代にあった形にするために、原型を留めないくらい変えすぎるのではなく、伝統工芸品の形そのままを今もこれからも繋げていくことが大切だと思った。

色々な人たちの「この伝統文化を残していきたい！」という気持ちもわかるが、その気持ちを優先するために、先人たちが残してきたものを蔑ろにしすぎているのではないかとどうしても感じてしまいます。もう少し柔軟に継承していくことが、この先残るものなのではないかと考えが変わりました。

確かに伝統も文化も時代に合わせて変えていくのも大事だけど、ちゃんと原型とかを残して創るといいと思った。

色々な伝統文化が現代風になっているけれど、「これは伝統を受け継いでいる」「受け継いでいない」は人それぞれの考え方があって、全員が「これは受け継いでいる！」と言えるものは無いのかな、と思った。

何でもかんでも新しいものにしすぎないことが大切ということが分かった。そして、伝統を大切にしていきたいと思った。

「伝統」ってわざわざ名乗らなくても、流行に乗って今時にしてみた～って売り出して、ちょっとでも伝統工芸品に触れたり興味をもったりすることができるなら、いいんじゃないかな、と思った。昔ながらのものも、新しい感じのものも、工芸品の幅を広げていったらいいと思う。

皆さん、色々な感じ方や考えをもっていて、それを共有できるのがいいなあ、と思いました。道徳などの授業だけでなく様々な学習をする中で、自分の考えが変わったり、新たな考えに気づいたりすることもあります。クラスメイトの意見や考えを聞いて、「私もそう思った！」「いや、私と違う。」「確かにそうかも。」「その考え方もあったかー。」など、色々な思いや考えが浮かぶと思います。これは、授業以外の日常生活でもそうですよね。

色々な感じ方や考えに触れることで、自分の考えが明確になる、新たな視点に気づく、考えが変わる、などなど。生きていく中で、これが大切なことだと私は思います。自分だけの感じ方・考えに留まらず、色々なものに触れて、受け入れたり修正したりしてください。きっと人生が豊かになります。

保護者の皆様へ

先日の参観日ではご来校ありがとうございました。中学校卒業後の進路についてなど、ご不明な点がございましたら、遠慮なく学校にご連絡ください。

また、6月には高校説明会を開催します。詳しい日程やご来校いただく高等学校は、後日連絡いたします。